

平成 20 年 6 月 24 日

社団法人日本物流団体連合会

特定荷主などを対象とした CO₂ 排出原単位 1%以上削減を図るための 「グリーンロジスティクス推進フォーラム」を開催

社団法人日本物流団体連合会では平成 20 年 7 月 22 日(火)に東京都千代田区 砂防会館において、「グリーン物流パートナーシップ会議」の諸施策を補完する観点から「グリーンロジスティクス推進フォーラム(主催：社団法人日本物流団体連合会 後援：国土交通省・経済産業省)」を開催する。

2006 年に施行された改正省エネ法により、特定荷主は中長期的に輸送に係る CO₂ 排出原単位について年 1%以上の削減努力が義務付けられており、当フォーラムでは、特定荷主などを対象に CO₂ 排出原単位 1%以上の削減を図るための各種削減策を紹介する。

グリーンロジスティクスの推進については、物流事業者だけでなく荷主との協働した取り組みが不可欠であることから、物流連としても初めて特定荷主を主対象としたフォーラムを開催する運びとなり、関係省庁である国土交通省・経済産業省の後援も得ている。

当フォーラムは、「共同物流」「システム効率化」「モーダルシフト/輸配送効率化」の 3 テーマについて、環境負荷低減の最新の取り組みの実情を紹介するとともに、「グリーン物流の現状と今後の展開」「各種支援・税制優遇措置」について国土交通省からの説明、明治大学理工学部教授の北野 大 氏を講師に招いての特別講演「持続可能な社会への提言」を行う。

定員は 300 名、受講料 15,750 円/1 名、申込受付締切日は 7 月 19 日(土)となっている。

申込みは物流連ホームページ(<http://www.butsuryu.or.jp/>)より行っている。

担当：社団法人日本物流団体連合会

物流情報センター 福本 茂一

TEL: 03-3593-0139